⑭日本国特許庁(JP)

40 特許出願公開

⊕ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭61 - 1138

@Int.Cl.4

4

識別記号

庁内整理番号

砂公開 昭和61年(1986)1月7日

H 04 L 11/00 H 04 Q 9/00 Z - 7830 - 5K 6914 - 5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

❷発明の名称 多重操作形操作盤

②特 額 昭59-- 122351

磁出 顧 昭59(1984)6月14日

60条 明 培 小 川 二) 60出 顧 人 松下電工株式会社 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

松下電工株式会社 門真市大字門真1048番地

份代 堰 人 中堰土 石田 長七

明初期

1 発明の名称

多里操作形操作型

2 善許請求の和頭

(1) 照明等の現気負荷をオンオフ利のするリレー制御線示器と、防犯し、関連をセンサー人力強末器と、窓間・インターホン・ドアルン等の音声が入力されるモンサー人力強末器と、窓間・インターホン・ドアルン等の音声が入力される面像ではが入力される面像できないは抵熱系を介して協議をである。は抵熱系を介して協議をである。は抵熱系を介して協議をである。は抵熱系をからの音をはないない。 大部の自体信号を本語が展布をいる音楽をでいる。 大部の自体信号を表演が形象をでいる音楽を表演が表示を表演が表示を表演が表示を表示を表示を表現を表示といる。 大学の音楽を表示を表示を表示といいました。 は、理像信号を表演が形象がまないない、上記を表現にある。 は、理像信号を表演が形象がまるが、と記を表現にある。 は、対象を表示といいましてもの。 は、対象を表示といいましてものでは、対象を表示といいまた。 寄したり、各機能を選択制御する機能スイッチを 装取機ディスプレーユニットの固面外の倒辺部に 表球部分に対応して配根構成して成ることを労働 とする多重無作形線作盤。

8 発明の磐細な説明

技能分野

本館明は、民生用,産業局等の分野で用いられる、例えば原明器具,空間機器等の負荷機器の 成職,電気能の開閉,モニタ下どのオンオフ等の染 中側御器視、火災,ガス器れ,窓の開閉状態等を検 出するセンサーによる業中状態監視表示及びその 情報に動づく書報,擬知、電源・インターホン等の 過話機能等を有する業中制都電視界の多里線作形 機作型に関するものである。

1. [對景技場]

数5回は能来例の住宅情報整人、の鉄視圏を示すものであり、1.1 は情報録点、の前回に設け、 られている要素・操作部で、各場来都を介して監 視,錯損する負荷の文字やそれを表すシンボル等 が表示されるディスプレーユニット 6 と、ディス プレーユニット 6 の前面であって文字やシンボルに対比して複数個の意明な操作スイッチ 8 ° …からなる操作部でとから構成されている。 2 は電節用あるいはインターホン周のハンドセットで、 8 はテンキーからなる操作部、 4 はモード 切換スイッチ、 5 はスピーカである。 このような、 質報製み ' において操作部で ' はディスプレーニニット 6 の個像表示面の前面を押圧またはタッチするように構成されている。また、このような信数な人' は生宅の場合、 台所に設置されていることが多く、

そのため、汚れた手で操作をれることが多くなり、 ディスプレーユニット8の前百に配けた途明な様

作郎?' か汚れてしまい、炎乐が判除しにくくな

るという閉顔を有している。

また、選明な銀作部で、はビュールシート等 比較的革らかい透明なお衣で物成をれており、終って傷をつける危険性や、周囲風皮の変化による体 配で常時押圧状態になる等信根性上の問題があった。また、観象例では押圧する機作部で、とその 項目名等のディスプレーユニット6の表示部分は

レーユニット6の投票間には後述、前犯用のセサスス、電気観の連続,解論の放逸、前犯用のセンサー、,TVカノラ等の水溶液示の文学及びシンボルが表示をもれている。そして学やンスがあれている。では、からなどではないがあれてがある。これが、アイスアントの投資では、アイスアントの場合のでは、アイスアントの関連のために上下部のようインに関するが、いれたは、アイスアントの関連のために上下部のようインに関するが、いれたの関連のたったととを設けた例で説明するが、いれたトンスには上下を右いずれの辺の機があるかととである。

まて、一般にこのような性宅情報終入では係 2 図にがすような実配線方式または有線、無線の 峰分割多限あるいは過級数多低低送手段を用いて 制制,能減すべき様々な編末器と装載されている。 ここでは多盤の場合の例を示している。13は9 特開略61-1138(2)

はは四一領域になっており、操作中はその項目名を肖確認したり、提伊に苦づいた状態表示変化が 何りにくいといった問題があった。

【発明の目的】

本労用は上述の点に置みて提供したものであって、整作部の提作スイッサとディスプレーユニットの表示部分とも当後して設け、操作部が多少汚れてもディスプレーユニットに表示部分には影響が空いようにするとともに、操作中でも表示部分の変化等も充分型型できて操作しやすい多重操作
形機体盤を提供することを目的とするものである。

【発明の照示】

以下、本発明の突旋剤を図面により説明する。 節1 図は一契値例としての住宅情報整人の特線関 を示すものであり、2 は割えば電路均まにはイン ターホン用のハンドセット、3 はテンキーからな る操作部、4 は適素モード/ブログラムモードの 切換スイッサ、5 はスピーカである。6 は C R T またはドットマトリクッスタイプの級品ディスプ ンー等のディスプレーユニットである。ディスプ

ルのような信号ラインまりを介して解卵償号を受 けてリレー制約頭京器13を展倒してリレー13 aを駆動し、照明器具し1~Laを点絃到朝するも のである。ACは交流電源である。15ほセンサ ー入力解末器で、陸炎層の大災センサー16.筋 妃界の恩センサー1?からの監視信号を受け、こ の監視信号をセンサー入力額米路15より留号で イン14を分して住宅替報盤Aに入力を九、もの 異常状況に必とて表示・操作部1のダイスプレー ユニット 8 にて表示される。」8 は電気穀焼末器 て、ドア20に取者をれている電気殺19を企宅 信器整点からの函数,搭範信号にて施錠または解 鏡せしめる。22ほドアネンで、音声増末器21 も介して金鬼関親舞Aと遊話可能とし、28は例。 えば文関等に限度をみるiTVガノタで、iTVガ ノラ23からの趙像信号は顔像信号端末群24そ 介して能電信数数Aに送られ、米塞省の映像を表

このようなシステムの体泡物製盤Aでの頭背

特限昭61-1138(3)

(a)に示す。すなわち、ディスプレーニニット 6 には時期最示、私気能の施院,解院の状態、防机 用のセンヤー、iTYカノラ等の状態表示の文字 及びシンドルが表示されている。そして、アイス プレースニットもの表示部分に、採伊部での退你 スイッチ8が対応して上または下に配置してある。 ここで、適高時の匝節には孤気蛇の遊籠,辨錠の 状態表示、防災智度の入りが切りかの状態表示。 過食時手動でモニターするiTVカノラの何如ス イッチ袋の通常時における使用頻度あるいは確認 植座の多い直接制御項目及び直接状態表示項目と、 助ガ調整、プログラム等の通常時における残局症 皮の比較的少ない影節/緊視機関頭面へ切り換え る目次項目的な操作スイック 8 の場所設外を行っ ている。この距離で、例えば使用頻度の多い勝手 口の電気錠を那続きせる場合、該当配面の上方の 指作スイッナ8,を存せば電気能は郁脆され、そ の投盤表示は解錠も示すシンボル表示に変わる。

また、住宅内の販明設具等の負荷機器のキン オフ状態を確認しない場合には、使用領域が比較 的少ない「通復」の項目の係分の幾行スイッチ 8 2 を押すと、ディスプレーユニット 6 の姿界回回は 第 3 図 (b)のように子画版に受わり乾退ができる。 第 3 図 (b)に示すこの状態は位宅内の各級明負荷 のオンオフの状態を承しており、この回面で例え は、成下の観察負荷を承しており、この回面で例え は、成下の観察負荷を点好をせたい場合には、操 作スイッチ 8 2 を押せば、穀内の背距色が育色で 数ポそれた改当時内は、照明負荷が突厥に点気制 要されな数色はオン状態を示す赤色に変わること になる。またこのような、子回面から振る図(a) に示す回面に複様するには、翅帘キー 8、を押せ ばよい。

をちに、過水を水値頂で発気負荷を制御/モニタする子間間への切り替え用の操作スイッチ 8,を押すと、第3扇(1)のような子面面の切り替わる。この時、寝室のエアコンをオンをせたい場合には、操作スイッチ3,を行せばよい。

また、火災センサー等から情報解Aに入力がなされると、面居は553回(d)のような決力のモード表示となる。この投稿では必要な管験音句点

キー8。の似と必要なキー表示部のみ後示する。・

また、歯3頭(e)は疳戸機束器やから入力が あった場合、その堪所にあるテレビカノラの調像 信号粉束部から送られてくる映像西面に、その状 祝で必要な祖矢龍、殷明負荷などの制御や状類監 視の項目面像をスーパーインボーズ表示した例で ある。また、テレビ遊祝用の钢御スイッテる。を 得せば、終3個(e)に示すように厨厨にテレビ面 間となり、西田の頃にはチャンホル表示がそれる。 このように、この情報整人では自発的に制抑監視 する場合、使用板皮の多い選称,状態表示を行っ ておと、盆後的に刺動散視できるように適な時に おいて表示している。また、 使馬額度の比較的少 ないものは目太承目から子面面へと手数保作によ り都袋制御できるように請求するとともに、キン ・サー人力時やドアホン人力時等の処期的センザー 入力に対しては、予め込められたシステムの優先 順位に従ってその状況で必要な操作表示部(ディ スプレーユニット6の表示面に表示される進作ス

することが可能である。また、その表示をれる機 作表示部は必要な小阪にすることができ、不畏な 単作表示部のために類雑になることはなく、旦つ 鉄銀に吹して必要な単作表示銀のみ表示するよう。 にしているので、準作がしやすい上に監視しやす い操作館としての情報館点を構成することができ るものである。このように、操作スイッチ8の様 作時、ディスプレーユニット8の投示面に変命さ れた操作内容の項目と対応して放弃する操作スイッ f.8 が近くに配位してあるので、表示部分と操作 節では一覧的に(多数動作なしに)把撥及び採作で きるとともに、操作時にディスプレーユニットの の表示菌にタッチしなくてもよいので、操作によっ て表示部分が行れて見えにくいということもない。 また、操作時、並行して政策関を機器しなから殺 作できるので、鉄操作の防止,操作変化の単期硫 設が可能となる。また、数少ない操作スイッチ 8 セディスプレーユニット 8 の回顧切り替えで多型 的に幾分可能であり、「像作性」表示性ともに向上

海周昭61-1138(4)

34.

弟も昭は情報並入のハード排収のプロック関 を示すらのである。25はセデムブロックで、群 照テレビ映像指导及び実関からのiTYカノラの. 映像信号を受信するウェーテー26と、雑誌,イ ンターホン等の音声の投受を行うモデム回路もで とから群席をれている。チューナー26から出力 されたNTSC伊号は穀換服路32に入力をれて RGB伊分は交換をれる。をらはRGB併号は国 **住合収回路33によりディスプレーユニッ16に** 遊られ国像表示される。一方方声は資料収荷物幅 回船28と育声制御回路29とを介してスピーカ 5より出力をれる。提作番でからの何号はキー人 カインターフェイス回路84を介してホストごP ひららに入力をれ、ホストCPV35では、河面 T-PROMS6, TRYPAROMS?, RAM 38等の在メモリとデータの投受を費い、インク ーフェイス回路31,モデム回路27を介し紙作 部でに入力をれた制御信号を信号タイン14を介 して各層束器に伝送する。80は駅音発生回路で、

樹えば火災等の長常時におりているもはとす。 かるものである。またホースのに信号を送り、というではスプレープロセッサー39に信号を送り、AM 40とディスプレープロセッサー39に信号を送り、AM 40とディクの設定を繋って、制御に対すた。ないたででは、対けによるなの内容を変更である。41に 関助語画との類類はいるには、対対の重には、があるないがあるでは、対対のではは、があるには、ののないには、ののないには、ののないには、ののないないが、できまれて、のできないが、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、できまれて、ことは対象である。

[発明の効果]

本発明は上述のように、照明等の電気負荷を オンマフ制御するサレー制御職収録と、防犯防災 用センサー等からの恩挽信号が入力されるセンサ 一入力増末器と、退節。インターホン、ドフォン等

の音声が入力される当声途末輩と、商用ラレビア ンテナ,モニター用TVカノラ等の回線信号が入 力なれる西像雪号端水源等と容赦あるいは鉄根花 も介して捻越され、上記リレー制御絵末器,セン サース力権米野等の基中制勢監視機能、各声電水 器との音声の過去話数説、血染信号項末器からの 國像信分の映像監視機能等を存する多点操作機構 作盤において、上記各数能に関する状態を複数差 示するディスプレーユニットと、 放ダィスプレー ユニットに表示されている操作仪置,被採作項目 名あるいはそれを表すシンボル,状態表示等に対 応して各層本際を制御したり、各協能を選択制例 する振作スイッチを後数餌ディスプレーユニット の画面外の高級部に表示部分に対応して配置務心 したものであるから、表示部分と概作スイッチは 一覧的に記憶及び操作できるとともに、操作時に ディスプレーユニットの表示型にタッテしなくて もよいので、無你によって表示部分が行れて見え にしいということもなく、また、操作時、逆行し

の防止,機作製化の早期確認が可能となる効率を 奏するものである。

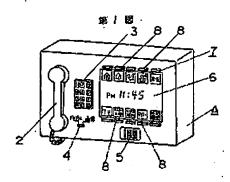
4 図面の簡単な説明 '

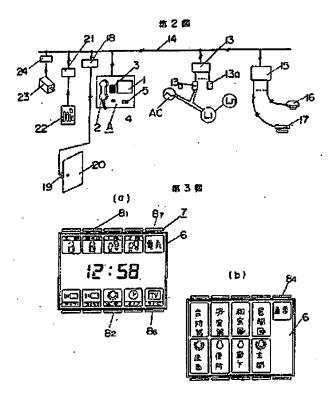
第1回は本種明の質能別の情報型の外視器、 第2回は同上のシステム機会器、第3回(a)~(() は同上の散射図、第4回は荷上の育報型のブロッ ク図、第5回は使糸側の斜視膜である。

をはディスプレーユニット、をは縁作スイッナ、13はリレー側御殿京都、15はセンサー人 力職京都、21は資声線京都を示す。

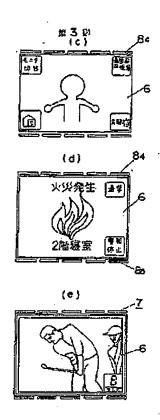
代摩人、外原士 石 田 東 七

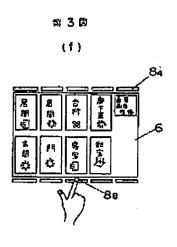
特高昭G1-İ138(5)

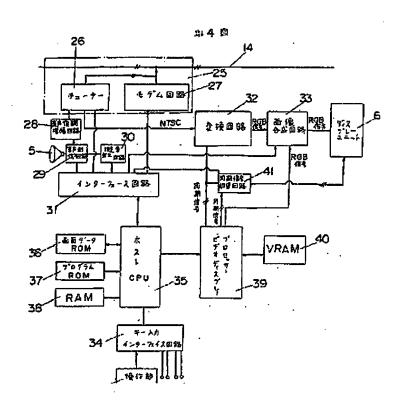




特爾昭61-1138(6)







特開昭61-1138(ア)

